

# レスポンスブル・ケア活動の取り組みと実績

環境や安全に関する各種課題に対して、方針を策定し、継続的改善に取り組んでいます。また、環境保全対策に要したコストとその効果を評価するために、環境会計を実施し公表しています。

## ●2022年度の主な取り組み結果および2023年度実施事項

分類	取り組み項目	2022年度 結果	自己評価	2023年度 実施事項
環境保全	温室効果ガス排出削減 省エネルギー活動の推進	エネルギー原単位年平均1.4%改善(5年度間) カーボンニュートラルへの取り組み方針の検討 (p21)	○	カーボンニュートラルへの取り組み方針に基づく対応の検討 省エネルギー活動の推進
労働安全衛生・ 保安防災	労働災害・設備災害の撲滅	休業災害2件(p23)	×	リスクアセスメントの実効性向上
化学品・製品安全	化学品・製品の安全確保	化管法*1改正等に基づくSDSの改訂(p24)	○	化管法改正等に基づくSDSの改訂
社会との対話	社会への情報公開推進	TCFD*2への対応検討 [HOKKOレポート2022]発行	○	TCFDへの対応 [HOKKO レポート 2023]発行
	地域社会との交流推進	各事業所において地域社会との交流を推進 (p26)		地域住民・地域行政等との対話、地域活動への参加によるコミュニケーションの推進

\*1 化管法：特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律

\*2 TCFD：気候関連財務情報開示タスクフォース

## ●環境会計

### 環境保全コスト

(単位:百万円)

分類	主な取り組み内容	投資額*3	費用額*4
1	事業活動により事業エリア内で生じる環境負荷を抑制するための環境保全コスト(事業エリア内コスト)	190	397
	内訳		
	公害防止コスト	80	147
	地球環境保全コスト	104	0
	資源循環コスト	7	250
2	事業活動に伴ってその上流または下流で生じる環境負荷を抑制するための環境保全コスト(上・下流コスト)	0	6
3	管理活動における環境保全コスト(管理活動コスト)	5	73
4	研究開発活動における環境保全コスト(研究開発コスト)	0	33
5	社会活動における環境保全コスト(社会活動コスト)	0	0
6	環境損傷に対応するコスト(環境損傷対応コスト)	—	0
合計		195	509

\*3 投資額：環境保全に関する設備投資

\*4 費用額：環境保全に関する減価償却費、維持運営費

### 環境保全効果

### 環境保全効果に伴う経済効果 (単位:百万円)

環境保全効果の分類	環境パフォーマンス指標(単位)	2021年度	2022年度	対前年増減量
事業活動に投入する資源に関する環境保全効果	総エネルギー投入量 (kL)	12,313	12,304	-9
	上水道使用量 (千m <sup>3</sup> )	455	478	23
事業活動から排出する環境負荷及び廃棄物に関する環境保全効果	CO <sub>2</sub> 排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	31,513	31,755	242
	COD排出量 (t)	20.7	22.7	2.0
	廃棄物等総排出量 (t)	6,149	6,084	-65
	リサイクル量 (t)	4,563	4,542	-21
	廃棄物最終処分量 (t)	437	399	-38

効果の内容	金額
有価物売却額	15

\*環境省「環境会計ガイドライン2005年版」、(社)日本化学工業協会、日本レスポンスブル・ケア協議会「化学企業のための環境会計ガイドライン」に準じて算定しています。